日常生活及び就労に関する状況について(照会)

この書類は、障害基礎(厚生)年金の審査にあたって、請求者(受給者)ご本人の日常生活状況や就労に関する状況を詳しく確認させていただく必要があると認められた場合に、お送りしています。(記載していただいた内容は、審査の資料となります。)

<記入する前にご確認ください>

- 請求者(受給者)ご本人またはご本人の日常生活及び就労に関する状況をよく把握している方が記入してください。
- 今回ご照会する内容は、既にご提出いただいている書類から確認することが困難であったものとなります。日本年金機構が指定した項目以外の欄については、記入していただく必要はありません。
- 各項目の記入にあたっては、4ページの「記入上の注意」をご確認ください。
- この書類が提出されない場合は、すでに提出された資料で審査をさせていただきます場合があります。

請求者(受給者)氏名	生年月日
令和 年 月 頃の状況についてご回答ください。	

1. 生活環境について該当するものを○で囲んでください。⇒		入所・入院・在宅・その他()
「入所(入院)」している場合は、次の①および②についてわかる範囲で記入してください。		
① 入所(入院)した時期	平成・令和 年 月から	
② 入所(入院)時からの日常生活の援助状況	/	
「在宅」の場合に、同居人の有無について該当する方に○を付けてください。⇒		あり・なし
同居者「あり」の場合は下記③を、「なし」の場合は④を記入してください。		
③同居あり	同居者について該当するものを全て○で囲んでください。	配偶者・子【 人、(歳)(歳)(歳)】・父・母 その他()
④同居なし	単身生活になった理由及び単身生活となってからの日常生活の援助状況	平成・令和 年 月から

2. 日常生活における障害の影響や同居者等周囲の方からの援助について具体的に記入してください

①主に誰から援助をうけていますか ヘルパー 親族(続柄:) その他()

②日常生活の場面 おおむね一人でもできることはどのようなことですか。 一人ではできないために、周囲の方の援助を受けていることがあれば、援助の内容や頻度を具体的に記入してください。

食 事		
入浴や 清潔保持		
金銭管理と 買い物		
外 出		
通院と服薬	【通院の頻度】(週 ・ 月 回) 【通院のつきそい】(有 ・ 無) 【服薬は自分で管理できていますか?】	
他者との コミュニケーション		
安全保持及び 危機対応		
趣味や興味があるものへの 取り組み		
社会での 諸手続き (金融機関、行政機関、 電話、電気、ガス、水道等)		

その他の援助(たとえば育児、家族の介護等)を受けていることがあれば記入してください。

3. 就労(作業)状況について ※就労(作業)している場合にのみ記入してください。

① 勤務先(福祉事業所)について	一般企業・福祉事業所・その他()
② 雇用形態 (作業所で訓練を受けている場合は、記載不要です。)	一般雇用・障害者雇用・自営・その他()
③ 就労支援区分(利用者のみ)	就労継続(A型・B型)・就労移行
④ いつから勤務(訓練)していますか。	昭和・平成 年 月から
⑤ 1日の勤務(訓練)時間	平均 時間 分
⑥ 1カ月の勤務(訓練)日数	平均 日
⑦ 1カ月の給料	有(約 円)・無
⑧ 通勤方法	電車・バス・車・徒歩・その他()
⑨ 通勤所要時間	時間 分
⑩ 通勤(通所)時の付添人の有無	あり(本人との関係:)・なし

⑪ 就労内容(職場における自分の担当する仕事の内容等)を記入してください。

⑫ 仕事場で他の従業員とのコミュニケーションの状況をご記入ください。

⑬ 仕事場で受けている援助の状況をご記入ください。(援助の内容、頻度)

⑭ 就労を継続するために、家族や専門職等から受けている職場外での支援内容等があれば、記入してください。

⑮ その他(欠勤等を含めた勤務状況等)

4. その他の事項にかかる下記設問に詳しく記入してください。

休職の有無及び休職期間を記入してください。

【休職の有無】(○をつけてください。)

有 ・ 無

【休職期間】(例: 令和5年8月1日～10月31日)

()

※休職していない場合、休職期間は記入不要です。

令和 年 月 日

請求者(受給者)氏名 ()

記入者氏名 () 請求者(受給者)との関係 ()

記入者電話番号 ()

注 請求者(受給者)以外の方が記入された場合は、「請求者(受給者)氏名」とあわせて、「記入者氏名」「請求者(受給者)との関係」「記入者電話番号」を記入してください。

日常生活及び就労に関する状況について(照会)の記入上の注意

1. 生活環境について

- ・ 「② 入所(入院)時からの日常生活の援助状況」は、施設内での日常生活において、受けている援助の内容や本人の日常生活能力を具体的に記入してください。
- ・ 「③同居あり」は、「その他」を選んだ場合は、かっこ内に同居者の続柄または本人との関係を記載してください。同じ続柄の同居者が複数いる場合は、人数も記入してください。
- ・ 「④ 同居なし」の「単身生活となってからの日常生活の援助状況」は、単身生活を始めてから日常生活で受けている援助の内容や本人の日常生活能力を具体的に記入してください。

2. 日常生活における障害の影響や同居者等周囲の方からの援助について

- ・ 「①主に誰の援助をうけていますか」は、該当するものを○で囲んでください。なお、「親族」を選んだ場合は続柄を、「その他」を選んだ場合は、具体的に誰が援助しているか(たとえばケースワーカーなど)をかっこ内に記入してください。
- ・ 「②日常生活の場面」は、本人の日常生活能力を判定するうえで、参考となりますので、できるだけ具体的に記入してください。(各欄の【援助者】は、①の主な援助者と異なる場合のみ、記載して下さい。)

3. 就労(作業)状況について

- ・ 「①勤務先(福祉事業所)について」は、就労支援事業所や小規模作業所などに所属している場合は、「福祉事業所」を○で囲んでください。
- ・ 「⑤1日の勤務(訓練)時間」は、直近1カ月の平均を記入してください。
- ・ 「⑥1カ月の勤務(訓練)日数」は、直近3カ月の平均を記入してください。
- ・ 「⑦1カ月の給料」は、直近3カ月の手取額の平均を記入してください。
- ・ 「⑨通勤所要時間」は、自宅から勤務先事業所までの移動にかかる時間を記入してください。
- ・ 「⑫ 仕事場で他の従業員とのコミュニケーションの状況をご記入ください。」は、仕事の指示はどのような方法で受けているか、他の従業員との意思疎通の状況等を具体的に記入してください。
- ・ 「⑬ 仕事場で受けている援助の状況をご記入ください。(援助の内容、頻度)」は、具体的な援助の内容や頻度だけではなく、仕事の内容等で配慮されていることがあれば具体的に記入してください。
- ・ 「⑮ その他(欠勤等を含めた勤務状況等)」は、直近1カ月の勤務状況やその他の就労にあたって、不便に感じていることなどを記入してください。